

ONEの業績予想修正－業況は厳しく、海運大手3社の業績に対する影響を注視

以下は、海運大手3社（日本郵船、商船三井、川崎汽船）が定期コンテナ船事業会社 Ocean Network Express Pte. Ltd. (ONE) の19/3期通期業績予想の修正を発表したことに対する株式会社日本格付研究所 (JCR) の見解です。

■見解

- (1) 海運大手3社は18年10月16日にONEの19/3期通期業績予想の修正を発表した。修正後の予想は税引き後損益600百万米ドルの赤字（前回予想110百万米ドルの黒字）となった。修正理由は営業開始直後のサービス混乱による影響の解消遅れや東西航路における復航の積高低迷である。
- (2) 海運大手3社は赤字体質にあったコンテナ船事業の統合に踏み切り、18年4月に操業を開始した。大手3社のベストプラクティスを背景にスケールメリットを享受しつつ、競争力を発揮していくことが期待された。シナジー効果については着実に発現しているとみられる。ただ、営業開始直後のサービス混乱に加え、足元でも積高の回復が遅れている。荷動きが堅調に推移し、コンテナ市況が緩やかに回復する中で、シナジー効果を発現させているにもかかわらず、厳しい利益水準となる見込みである。
- (3) 18年2月の大手3社の格付見直しでは、業績回復の主因としてONEの段階的なコストダウン効果を想定していた。しかし、今回の発表内容を勘案すれば、各社は出資比率に応じて損失負担を余儀なくされると見込まれ、業績の下振れリスクや財務基盤のさらなる悪化リスクが後退したとのJCRの判断からかい離が生じつつある。各社の業績や財務基盤に与える影響に応じ、それぞれ格付を見直すこととする。さらに、今後のONEを含めた業績改善策に加え、中期的な業績見通しや財務改善の進捗状況を精査し、格付に反映させていく。

(担当) 水川 雅義・小野 正志

【参考】

発行体：日本郵船株式会社

長期発行体格付：A 見通し：ネガティブ

発行体：株式会社商船三井

長期発行体格付：A- 見通し：安定的

発行体：川崎汽船株式会社

長期発行体格付：BBB 見通し：ネガティブ

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル